

POINT

✓ be動詞には主語と後ろの語句を結ぶ役割があります。

✓ 否定文を作るときは、be動詞の後ろにnotを入れます。

✓ 疑問文を作るときは、be動詞を主語の前に持ってきます。

答えるときはYesまたはNoで答えますが、後ろに続く主語は、答える人の立場や、疑問文で使われている主語によって変わります。

1 ()内から適する語を選んで○で囲みなさい。(1問1点)

| | | |
|-----|--|-----------------------|
| 肯定文 | ① This (am ・ are ・ <u>is</u>) Sana. | こちらはサナです。 |
| | ② That (am ・ are ・ <u>is</u>) Mr. Jones. | あちらはジョーンズさんです。 |
| | ③ He (am ・ are ・ <u>is</u>) a vet. | 彼は獣医です。 |
| | ④ She (am ・ are ・ <u>is</u>) thirteen years old. | 彼女は13歳です。 |
| | ⑤ It (am ・ are ・ <u>is</u>) sunny. | (天気について) 晴れです。 |
| 疑問文 | ⑥ (Am ・ Are ・ <u>Is</u>) this your cap? | これはあなたの帽子ですか？ |
| | ⑦ — Yes, (this ・ <u>it</u>) is. | (⑥に対して) はい、そうです。 |
| | ⑧ — No, (this ・ <u>it</u>) is not. | (⑥に対して) いいえ、違います。 |
| 否定文 | ⑨ That (is ・ <u>is not</u>) my dog. | あれはぼくの犬ではありません。 |
| | ⑩ She (is ・ <u>is not</u>) from New Zealand. | 彼女はニュージーランド出身ではありません。 |

2 ()に適する語を書きなさい。1つの()内に入る語数は1つです。(1問1点)

| | |
|--|------------------------------|
| ① (This) (is) an apple. | これはりんごです。 |
| ② (That) (is) my favorite character. | あれは私の好きなキャラクターです。 |
| ③ (He) (is) my grandfather. | 彼はぼくの祖父です。 |
| ④ (She) (is) a math teacher. | 彼女は数学の先生です。 |
| ⑤ (It) (is) rainy. | (天気について) 雨です。 |
| ⑥ (Is) (he) fifteen? | 彼は15歳ですか？ |
| ⑦ — Yes, (he) (is). / No, (he) (is) (not). | (⑥に対して) はい、そうです。 / いいえ、違います。 |
| ⑧ (Is) (this) your sister? | こちらはあなたのお姉さんですか？ |
| ⑨ Shun (is) (not) my boyfriend. | シュンは私の彼氏ではありません。 |
| ⑩ (This) (is) (not) a snack for dogs. | これは犬用のおやつではありません。 |